

そう だい お じ だい い じん て がみ
総 題 「終わりの時代に生きる ヘブライ人への手紙」

だいじゅう に か ゆ うご み く に う
第 1 2 課 揺り動かされることのない御国を受ける

ひら が かずひろ
平賀和弘

いち あんそくにち ご ご
1. 安息日午後

こんしゅう じん て がみ じゅう に しょう まな じゅう に しょう て がみ か
今週は、ヘブライ人への手紙の 1 2 章を学びます。1 2 章には、この手紙のまとめが書かれています。

かみさま じん て がみ とお なに つた ねが
神様は、ヘブライ人への手紙を通して、わたしたちに、何を伝えたいと願っておられるのでしょうか。

それは、イエス様が救い主であることです。

かみさま すく ぬし さま しん すく ほし ねが
神様は、わたしたちが救い主であるイエス様を信じて、救われて欲しいと願っておられます。

に にちよう び やま ちか
2. 日曜日：シオンの山に近づく

シオンの山とは、どんな山でしょうか。ユダヤの人たちは、シオンの山と聞けば、まず、「エルサレムの神殿」や「神殿のあるエルサレムの町全体」をイメージしました。また、シオンの山には、地上の神殿やエルサレムの町を意味するだけでなく、目に見えない「天の聖所」や「天のエルサレム（神の御国）」という意味がありました。

さて、ユダヤの人たちは、エルサレムの神殿に行くことを、とても大切にしていました。神殿で動物をささげ、罪のゆるしをえるためです。そのために、ユダヤの人たちは、もし、神殿に行かなければ、罪のゆるしをえることができずに、滅ぼされてしまうと考えていました。

では、わたしたちも、エルサレムの神殿に行って動物をささげなければならないのでしょうか。その必要はありません。なぜならば、イエス様が、十字架についてくださったからです。神殿でささげられた動物は、わたしたちのために死んでくださったイエス様をあらわしていました。イエス様のおかげで、わたしたちは罪をゆるされています。さらに、イエス様のおかげで、神の御国に入ることができます。

わたしたちクリスチャンは、罪のゆるしをえるためにエルサレムの神殿に行くことはしません。しかし、神の御国に入ることを目指しています。そこには、わたしたちを救ってくださったイエス様がおられるからです。イエス様にお会いすることを楽しみに、この世の旅路を歩んでまいりましょう。

さん げつよう び ひと しんぱんしゃ かみ ちか
3. 月曜日：すべての人の審判者である神に近づく

聖書は、やがて神の裁きがあることを教えています。裁きの時、神の敵は滅ぼされ、神の民は守られます。なぜ、神の民は守られるのでしょうか。イエス様が、十字架についてくださったからです。わたしたちの行いが立派だからではありません。イエス様の行いが立派だから守られるのです。

多くのおおひとが、かみさば「神の裁き」をおそかんを恐ろしく感じるのかもしれません。しかし、かみさば神の裁きは、かみさましんものを信じる者たちにと
ってふくいんは福音です。さばかみかみは、神の民を滅ぼすためのものではなく、守るためのものであるからです。また、さばば
には、イエスさまがおられるからです。イエスさまは、わたしがこの人のために十字架じゅうじか「こついた」とわたしたちの味方
になってくださいます。これほどたしちからづよだす確かで、力強い助けはありません。

4. 火曜日：天と地を揺り動かす

ヘブライ人への手紙には、「わたしはもう一度、いちどち地だけではなく、てんゆうご天をも揺り動かそう」（ヘブライ 1 2：2 6）
と書かれています。これは、てんちゆうご天と地が揺り動かされて地震じしんが起こりますという予告よこくではありません。てんちゆ
うご動くとは、かみさば神の裁きによって、かみさまてきたいあくせいりよくほろ悪の勢力が滅びることを意味しています。ちじょう地上では、かみかみ
はくがい神の敵が滅びます。また、てんじょう天上では、ちじょうかみかみ地上の神の敵を背後はいごしはいで支配して
いるさたんとさたんの天使てんしたちが滅びます。かみさまあくせいりよくほろ神様は、悪の勢力を滅ぼされるのです。

5. 水曜日：揺り動かされることのない御国

てんちゆうご天と地が揺り動くとは、かみさば神の裁きによって、かみさまてきたいあくせいりよくほろ悪の勢力が滅びることを意味しています。しか
し、かみさば神の裁きによって、ゆうご揺り動かされないもの、ほろ滅ぼされないものがあります。かみさましんらいひと神様を信頼している人です。なぜ
かといえば、えいえん永遠にゆうご揺り動くことのないかみさままも神様が、守ってくださるからです。
また、てんちゆうご天と地が揺り動く時、あくせいりよくほろ悪の勢力が滅びるだけでなく、きよそうぞうかいふくお清めと創造の回復が起きます。かみさましん
ひと人たちは、あたからだ新しい体によみがえります。また、つみあたらしん罪のない新しい天と地がそうぞう創造されます。

6. 木曜日：感謝しよう

わたしたちは、すく救われるためにかみさまれいはい神様を礼拝するものではありません。イエスさまがすくわたしたちを救ってくださったか
ら、かんしゃ感謝して、かみさまれいはい神様を礼拝します。パウロは、どうぶつ動物をささげるのではなく、さんび讃美と告白、かんしゃ感謝と良い行いをさ
さげて、かみさまれいはい神様を礼拝しようとわたしたちをまね招いています。
れいはい礼拝は、きょうかい教会に行き、いみことば御言葉をきいたり、さんび讃美歌をうたったりすることにとどまりません。イエスさまみな
のつた宣べ伝えたり、きょうだいしまい兄弟姉妹をあいしたり、こま困っているひとたちをだす助けたりすることも、かみさまよろれいはい神様に喜ばれる礼拝です。

7. 金曜日：さらなる研究

あなたは、かみさば神の裁きを、おそおもしろいと思いますか。それとも、ふくいん福音だと思いませんか。
また、きょう今日、イエスさまかんしゃ感謝して、あなたの近くにちかひとにいる人にどんなことができるでしょうか。
なにかみさまよろこ何が神様に喜ばれることなのかを、かみさまおし神様に教えていただき、じっさい実際にやってみましょう。